

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：2/17～2/21

・2/17(月)

国会、GDP がマイナス成長、中国全人代が延期などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、国会については他の放送日と合わせての評価が必要と考えられるものでした。

・2/18(火)

新型コロナウイルスをめぐる国会論戦、小泉環境相、桜を見る会などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、小泉環境相および桜を見る会についての報道は他の放送日との合わせての評価が必要と考えられるものでした。なお、桜を見る会については検証者の所感を記しました。

・2/19(水)

国会（新型コロナウイルス）、籠池被告に判決、国会（小泉環境相と検察人事）などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、国会（小泉環境相と検察人事）については他の放送日との合わせての評価が必要と考えられるものでした。また国会報道全般の傾向について検証者の所感を記しました。

・2/20(木)

検察官の定年延長、「桜を見る会」をめぐる諸問題、森友学園問題、アメリカ大統領選挙などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上の問題は特には見られませんでした。なお、検察官の定年延長については検証者の所感を記しました。

・2/21(金)

検察官の定年延長、森友学園問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上の問題は特には見られませんでした。なお、検察官の定年延長については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年2月17日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 高橋尚子		
検証テーマ：国会、GDPがマイナス成長、中国全人代が延期		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス ・国会 ・やまゆり園事件裁判 ・神保町駅で男性が痴漢を追いかけ階段から転落 ・GDPがマイナス成長 ・吸引器具に榎原容疑者の唾液 ・大津園児事故の容疑者に禁固4年6ヶ月 ・スポーツ報道 ・中国全人代が延期 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>・国会：結論→他の放送日との合わせての評価が必要</p> <p>小川キャスターの「さて続いては国会です、今日の審議は安倍総理大臣の異例の謝罪から始まりました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。</p> <p>"安倍総理「意味のない質問だよ。」</p> <p>ナレ「先週の予算委員会で安倍総理が意味のない質問などと野次を飛ばした問題、」</p> <p>安倍総理「不規則な発言をしたことをお詫びします。」</p> <p>ナレ「そんな中、野党側は新たな文書を安倍総理に突きつけました、全日空ホテルから辻元議員に届いたメールです。」</p> <p>辻元清美（立憲民主党幹事長代行）「桜を見る会にしてもですね、私、一番気になっているのはここで質問しました安倍方式。」</p> <p>ナレ「辻元議員が安倍方式と呼ぶのは桜を見る会前夜祭の疑惑、安倍総理の後援会主催で高級ホテルで800人が参加したものの政治資金の収支報告をしていないことがわかり違法性が指摘されている問題です。安倍総理は収支を報告する義務はない、と主張。その理由として安倍事務所はホテルと契約はしておらず金額について合意しただけ、などと釈明しています、では、その合意の内容についてホテル発行の明細書を示すよう求めると。」</p> <p>安倍総理「あの、ホテル側からですね、安倍事務所に対する明細書の提示はなかったということでございます。」</p> <p>ナレ「一貫して明細書は受け取っていないといい続ける総理に対し、辻元議員は。」</p> <p>辻元清美「どうしても納得行かないので、ホテルに問い合わせをいたしました。貴ホテルが見積書や請求明細書を主催者側に発行しないケースが有ったのでしょうか、この7年間。回答、ございません、主催者に対して見積書や請求明細書を発行いたします。もう一問聞きました、主催者が政治家および政治家関連の団体であることから</p>		

対応は変えたことはありますか、という質問を致しました、この七年間。回答、ございません。総理ご覧になりますか、これ。どうぞ。ご覧になったらどうですか。

ナレ「明細を発行する、政治家関連の団体でも対応を変えることはない、というホテルからの回答を書面で突きつけられた安倍総理、確認する、と一旦引き取り、午後再び答弁に立ちまいした。」

安倍総理「私の事務所が全日空ホテルに確認したところ、辻元議員にはあくまで一般論でお答えしたものであり、個別の案件については営業の秘密に関わるため、回答には含まれていないとのことであります。」

ナレ「ホテル側の回答はあくまで一般論で桜を見る会の前夜祭については答えていない、と主張したのです。」

"小川淳也（「立国社」会派衆院議員）「辻元議員のこの問いは例外がないと、言う間なんです、これ極端にいうと、総理が嘘をついているのか、ホテルが嘘をついているのかっていう話になりますからね。」

安倍総理「例外なくということは一言も書いてありません。全日空ホテルに確認をしたところですね、個別の案件については営業の秘密に関わるため回答に含まれていない、とのことで。」

ナレ「一方、焦点の明細書についてホテル側に確認したのかどうかについては。」

"山井和則（「立国社」会派衆院議員）「安倍事務所に、あの領収書、失礼、明細書を出していないということは全日空ホテルは明言したんですか、してないんですかイエスカノーでお答えください。」

安倍総理「明細書もですね営業の秘密であることからお答えはできない、出すことはできない、こういうことでございました。」

山井和則「ということはノーなんです、やはり、明細書を安倍事務所に出してないということは言っていないじゃないですか。」

"ナレ「そして、検察ナンバー2の検事長の定年を特例で延長することを決めた問題でも再三審議が紛糾しました、」

委員長「法務大臣森まさ子くん。」

ヤジ「総理って言ったじゃないか。」

ナレ「定年延長の規定は検察官に適用しないというこれまでの法律の解釈を安倍内閣が突然変更した経緯を問われた安倍総理は森法務大臣が解釈を行ったと答弁しました。」

"奥野総一郎（国民民主党衆院議員）「総理が今般、解釈を変えたとおっしゃったでしょ、今般というのはいつですか、というのもこれ、黒川氏の定年延長をするためにわざわざ法解釈を作り出したんじゃないんですか。」

安倍総理「森大臣が法務譲渡して閣議請議をする前にですね、今般こうした解釈を行ったということでもあります。」

"

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

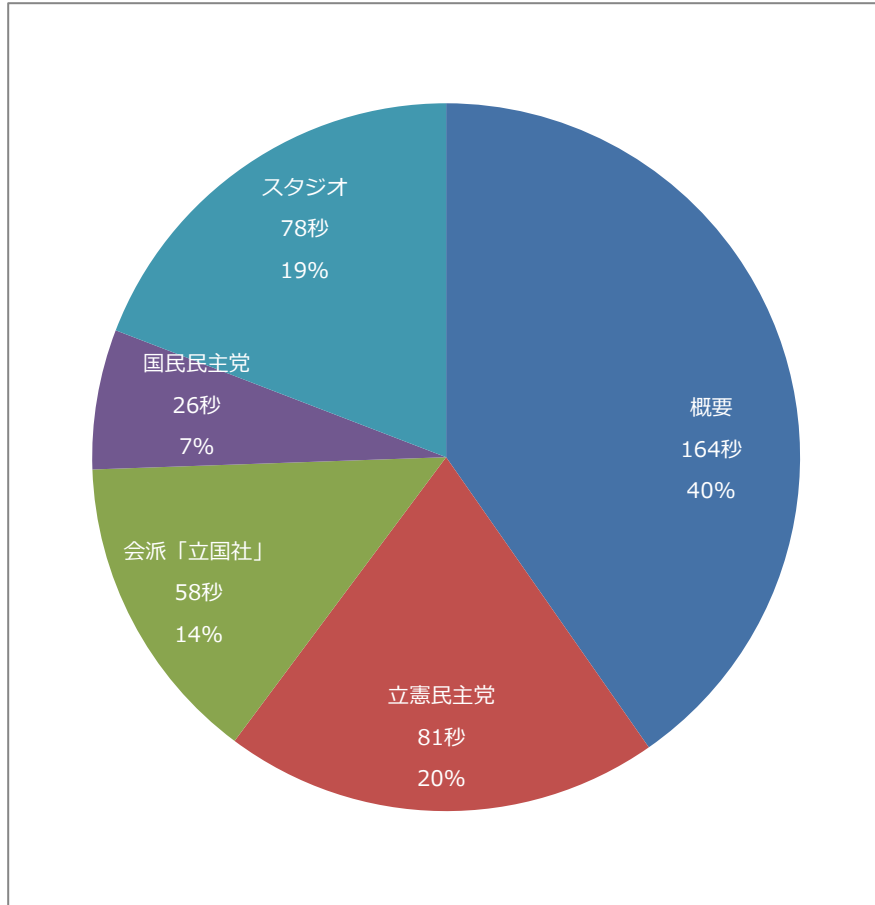
"小川彩佳「かつて、政府が則ってきた従来の法律解釈では定年延長できないはずの検察官なんです。先週安倍総理は定年延長ができる国家公務員法の規定が適用されると解釈することとした、と結構ざらりと答弁されていたなという印象があるんですけどもそんなに簡単に解釈って変更できるものなんですか。」

星浩「そうですね、まず今回この解釈変更にあたって政府はどうも過去の答弁を精査しなかった可能性があるんですね、大体そもそもですね政府というのは国会が決めた法律を執行する立場で勝手にその解釈を変えちゃいけないことになっていますよね。」

小川彩佳「はい。」

星浩「あの、ある弁護士資格を持つ国会議員に聞いてみると、今回のその解釈変更というのは例えていうと同じように運転していた人がですね、突然その警察にその検挙されて実は道路交通法の解釈が変わったんですよ、と言われるようなものだと言ってまして、確かにこれ許されることではないですね、どうも政府の答弁も相当破綻していますので、これはこの定年延長というのは早めに撤回したほうがいいと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 407 秒で時間配分は以下の通りであった。



一見すると立憲民主党、会派「立国社」、国民民主党とバランスよく取り上げているように見えるが、この三党派はつい最近までは民進党という同じ政党であったことを踏まえると、必ずしも放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」を満足するとは言い難いが、その評価については他の放送日との合わせての判断が必要と考える。

・ GDP がマイナス成長：結論→特に問題なし

ナレーションによって「内閣府が発表した去年 10 月から 12 月期の GDP の速報値は前の期と比べて 1.6% のマイナスとなりました。年率換算では 6.3% のマイナスで 5 四半期ぶりのマイナス成長です、10 月の消費増税に伴う駆け込み需要の反動や大型の台風、暖冬などの影響で個人消費が落ち込んだことなどが主な要因です。」とことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 29 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・中国全人代が延期：結論→特に問題なし

小川キャスターの「来月開幕予定だった中国の国会に当たる全人代について延期が提案されました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けてこれ、事実上の延期決定ということになります。」とのコメントを受けて、ナレーションによって「国営の新華社通信によりますと、17日、中国の全人代、全国人民代表大会の委員長会議が開かれ来月5日に北京で開幕予定だった全人代の延期が提案されました。正式な決定は来週の予定ですが、現段階で事実上の延期決定となります、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて延期が取り沙汰されていました、実際の延期が決定されれば3月3日の開幕が慣例となった、失礼しました3月5日の開幕が慣例となった1998年以降初めてで、4月上旬に予定されている習近平国家主席の国賓としての来日にも影響が出る可能性があります。一方、厚生労働省は中国武漢から今朝、チャーター機第5便で到着した65人のうち7人が入院したと発表しました。三人が日本人で4人が中国人だということです、厚生労働省は65人へのウィルス検査の結果について近く公表する方針です。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は85秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年2月18日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 水野泰孝（医師、感染症に詳しい）		
検証テーマ：新型コロナウイルスをめぐる国会論戦、小泉環境相、桜を見る会		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス ・新型コロナウイルスをめぐる国会論戦 ・小泉環境相 ・日産株主総会 ・ケフィア元代表らを逮捕 ・シリア内戦 ・栃木県小山市で送迎バスに轢かれ一歳男児死亡 ・桜を見る会 ・スポーツ報道 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスをめぐる国会論戦：結論→特に問題なし 新型コロナウイルスをめぐる国会論戦について以下に朱記したようにVTRで取り上げられていた。 ナレ「国会でも、」 "岡本充功（国民民主党、衆院議員）「2週間前の感染者数が本当にあの、少なく見えるほど、この間数が増えてきました、水際対策をやってこられていましたけれども、想定通りでしたか。」 安倍総理「これはまさに新たな事態ではありますが、その中でどういう事態が起こりうるか想定しながら、先手先手で対応してきたところ、でございます。」" このシーンに当てられた時間は28秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・小泉環境相：結論→他の放送日との合わせての評価が必要 "小川彩佳「まさにこれ、政府の本気度が問われる局面に入ってきていますけれども、そこに疑問を覚えるという問題が発覚しています。」 山本恵里伽「こちらは一昨日官邸で行われた政府の新型コロナウイルス対策本部の会議の様子です、全ての閣僚がメンバーとなっているはずのこの対策本部ですが小泉環境大臣の姿がありませんでした、一体何があったんでしょうか。」" "宮本徹（共産党衆院議員）「先週末、次から次へと新しい感染者がですね、確認される中でこの時間帯は地元で何をやられていたんですか。」 小泉進次郎（環境相）「ええ、宮本議員からご指摘があったとおりでして、今回のこの会議については政務官に代理出席をお願いしたところでもあります。」" 		

ナレ「釈明に追われるのは小泉環境大臣。一昨日、政府の新型コロナウイルス対策本部が開かれる中会議を欠席し地元で後援者らとの新年会に出席していたのではないかと追及されているのです。」

"宮本徹「もう一度だけお伺いしますが、その時間帯何をされていたんでしょうか。」

小泉進次郎「今、宮本先生がおっしゃられたとおりでありますし、危機管理は万全に行っております。」

宮本徹「後援会の新年会行事に参加していたか、イエスかノーか、それだけ。」

小泉進次郎「宮本先生のおっしゃるとおりで、危機管理には万全を期しております。」 "

"ナレ「公務よりも後援会行事を優先させたことは波紋を呼びそうです、改めて記者に問われ。」

小泉進次郎「今日国会で答弁したとおり、危機管理は万全です。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返され広がられた。

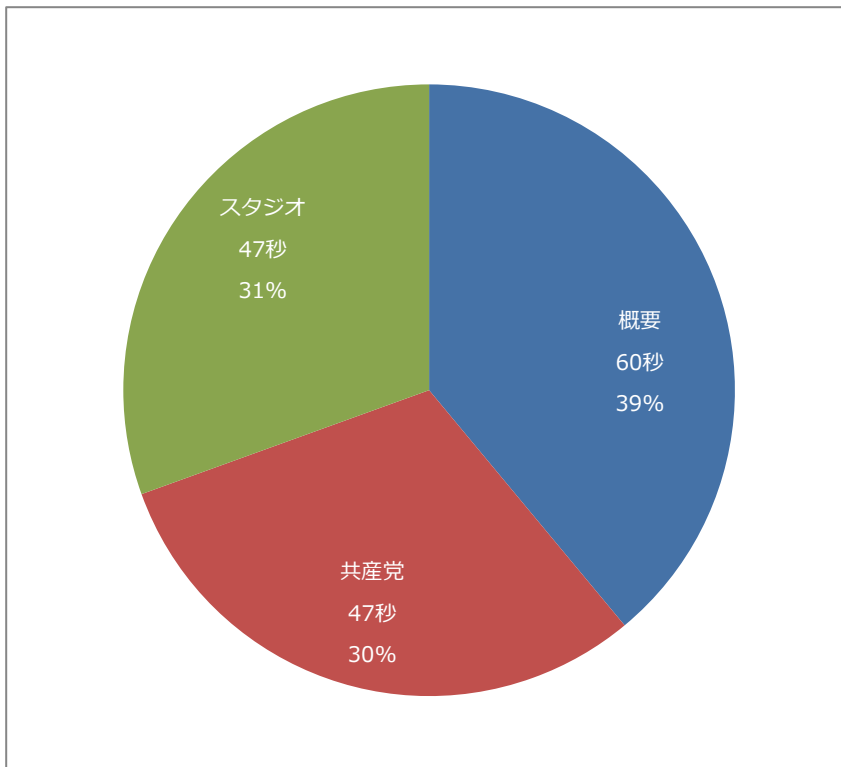
"小川彩佳「今がまさに新型コロナウイルス対策の正念場だというのにその会合を欠席して後援会の新宴会に出席した、と。その追及があつたにもかかわらずそこにはまっこうからなかなか答えようとされませんでしたね。」

星浩「そうですね、新年会を優先したと率直に認めればいいんでしょうけれども、まあ政権の幹部によりますとどうも小泉さん官邸に新年会に行きますと報告していなかったらしいんですね、まあそういう事もあって歯切れが悪いんですが。」

小川彩佳「それで答えられなかった。」

星浩「環境省というのは厚労省と同じ建物にあるんですね、小泉さんは自民党の厚労部会長もやってこの分野には詳しいので、まあ厚労省の応援というのはいくらでもできる立場にあるわけですよ、ですからまあ今回の点は危機感が薄いと言われてもしょうがないと思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 154 秒で、時間配分は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかったが、政党への時間割当については他の放送日との合わせての評価が必要

と考える。

- ・桜を見る会：結論→他の放送日との合わせての評価が必要

小川キャスターの「国会です、桜を見る会の前夜祭を巡ってホテルの明細書が焦点となっていますが、昨日の総理の答弁とホテル側の回答との整合性が揺らいでいる、と野党が追及を強めています。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

今井雅人（「立国社」会派衆院議員）「総理が虚偽答弁しているかもしれないんですよ。それをちゃんと立証するのは当然じゃないですか。」

ナレ「今日も紛糾した予算委員会、事の発端は昨日、桜を見る会の前夜祭の会場となったホテルから辻元議員のもとに届いたメール。これまで、総理は野党から提出を求められていたホテル発行の明細書などについては受け取っていない、と答弁していました。」

辻元清美（立憲民主党幹事長代行）「貴ホテルが見積書や請求明細書を主催者側に発行しないケースがあったでしょうか、この七年間。回答、ございません。」

ナレ「主催者に対して明細書を発行しないケースはなかった、などとするホテル側の回答、安倍総理は。」

安倍総理「辻元議員にはあくまで一般論でお答えしたものであり、個別の案件については営業の秘密に関わるため回答に含まれていない、とのことであります。」

ナレ「ホテル側は例外なく明細書を発行したとの野党の追及に営業の秘密のため回答に含まれない、と反論した安倍総理、しかし一部の報道機関はホテル側が総理答弁の内容の一部は事実ではない、と主張しているなどと報じました。」

"今井雅人「新聞社の質問に対して営業の秘密に関わるため回答に含まれていないと申し上げた事実はないとこ与えました。だからこの営業の秘密に関わるためということホテルぐあ入ったのか言わないのか。」

菅義偉（官房長官）「辻元議員にはあくまでも一般論でお答えしたものであり個別の案件については回答に含まれていないとの回答を得たということでもあります。」

ナレ「与党側が安倍総理の事務所に内容を確認したところ、そこにはホテルから一般論という説明はあったものの営業の秘密という言葉はなかったというのです。野党側は総理答弁とホテルの回答との整合性が揺らいでいるとしてさらに追及する方針です。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやりとりが繰り返された。

"小川彩佳「安倍総理の答弁を否定するような回答がホテル側からあったわけですけども、これどちらかが事実でないことをいっているということになりますよね。」

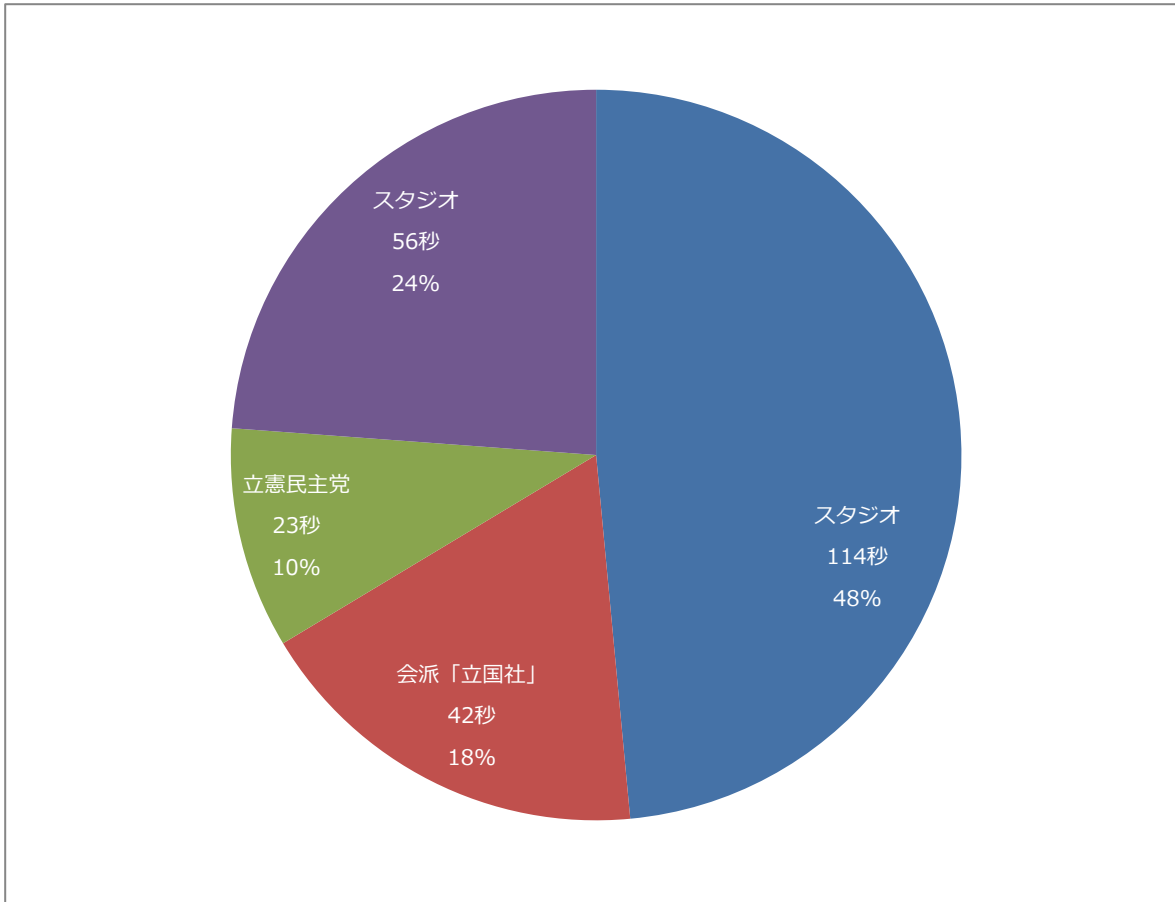
星浩「そういうことになりますよね、全日空ホテルは外資系ということもあって、まあ明細書を出せないとか政治家を特別扱いするということをなかなかいいにくい事情があるんですね、まあそれに対して安倍総理側は明細書はないとか特別扱いが例外的にあったんだと言うようなことを言っていて、今回はそういう意味ではホテル側の証言が安倍総理の今までの答弁を崩したという形になるんですね。」

小川彩佳「そうなる虚偽答弁の可能性も出てくるのでは。」

星浩「そうですね、でまあ野党側の追及はぐっとこう一步迫ってきたので安倍総理としてはこのまま強弁を続けるのか、やっぱりちょっと不明朗な点があったとってまあ謝罪をするのか、おそらく、明日明後日、そうい

う判断を迫られると思いますね。」

小川彩佳「ここが正念場ということですね。」 "



このトピックに当てられた時間は 235 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。しかし、各政党ごとの取り上げ方については他の放送日と合わせての評価が必要であると考えます。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
とくになし

検証者所感

・桜を見る会

会派「立国社」の議員の質問は度々取り上げられているが、その発言内容はまるで立憲民主党の別働隊みたいに見えるものであった。ところで、この「会派」というのがなんの説明もなく取り上げられているが、政党とはどう違うものであり、また何を目指している政治集団なのだろうか、そういったところは説明してくれないのだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年2月19日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 岩田健太郎（神戸大学教授、感染症内科）		
検証テーマ：国会（新型コロナウイルス）、籠池被告に判決、国会（小泉環境相と検察人事）		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス ・国会（新型コロナウイルス） ・籠池被告に判決 ・国会（小泉環境相と検察人事） ・千葉県虐待死事件 ・スポーツ報道 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会（新型コロナウイルス）：結論→特に問題なし 新型コロナウイルスをめぐる国会について以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。 ナレ「国会では下船後帰宅することが妥当な判断か議論になりました。」 "山井和則（「立国社」会派衆院議員）「今日降りられる500人の中で陰性だったけれど、昨日もしかしたら1人か2人かかもしれませんよ、感染した可能性、おられる可能性があるんじゃないですか。」 加藤勝信（厚労相）「その、ゼロの議論というのは非常に難しいわけでありまして、そこも含めて私どもはやはりそういった意味での専門家の判断を仰ぎながら対応させていただいている、14日間大変なご苦労の中で過ごされてきた、そういった皆さん型の立場、これも私たちが守るべき国民の1人。そして同時にその方が出ていくことで感染が拡大することがあってはならない、このバランスの中でですね、どこを取るべきなのか。」 このトピックに当てられた時間は53秒だった。 ・籠池被告に判決：結論→特に問題なし 小川キャスターの「さて続いてのニュースです、あの森友問題で判決です。」とのコメントに続き山本キャスターの「補助金1億7000万円をだまし取ったとして詐欺などの罪に問われた籠池泰典被告に懲役5年の実刑判決が言い渡されました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。 籠池諄子「国家のいじめです。これはおかしいですよ。」 ナレ「小学校の建設めぐり国の補助金をだまし取ったとして詐欺罪に問われた籠池被告。」 裁判長「籠池被告と設計業者、建設業者が出席した会議で虚偽の契約書作成が了承された。」 ナレ「今日、大阪地裁は懲役五年の実刑判決が言い渡しました。判決を前にした昨日、インタビューに応じた籠池被告は。」 籠池泰典（森友学園前理事長）「補助金の事柄の事件ですから補助金適正化法で対応しなければいかんものをわざわざ検察の方は詐欺だという方に持っていったということなんですよ。財務省、そして安倍首相、安倍昭恵夫 		

放送法遵守を求める視聴者の会

人が関わっていますというのが本丸の事件なのに、目くらましをしたわけですね。」

ナレ「国策捜査だという主張、一連の森友問題が始まったのは3年前のことでした。」

安倍総理（2017年2月）「いわば私の考え方に非常に共鳴している方、ですね。」

安倍昭恵夫人（2015年）「こちらの教育方針は大変、主人も素晴らしいというふうに。」

ナレ「安倍昭恵夫人が名誉校長に就任していた森友学園の小学校建設のために国有地が8億円も値引きして売られていたことが発覚、なぜ格安の値段で売り渡したかとい事について政府は地中にゴミが埋まっており、その撤去費用を値引きした、などと主張してきました。」

"籠池泰典「あの土地の下にゴミなかったということは、私も今わかりますし、なかったんですよ。きっと。真っ黒の写真があったけれどよく解析していったらゴミはなかったということはわかる、でもその事がわかってしまうとあの八億円の値引きは何だったんだということになってしまっ、じゃあそこに安倍総理、安倍昭恵夫人が絡まり、大きな、大きな、大きな問題になると。」

ナレ「国有地の格安値引きという森友問題がにわかに注目されたのはこの発言がきっかけでした。」

安倍総理「私や妻が関係していたということになれば、これはもう、まさに、これはもう私はもう総理大臣も国会議員もやめるといことははっきりと申し上げておきたい。」

ナレ「国会で証人喚問された籠池被告はこう証言しました。」

籠池泰典「どうぞ、安倍晋三からですとおっしゃって寄付金として封筒に入った100万円を下さりました。」

ナレ「安倍総理側は100万円の寄付や国有地売却への関与を否定、両者の主張は食い違ったままです。」

"籠池泰典「森友加計問題で、と同じことが桜を見る会で行われているわけでしょ、全部ウソを言っているってわかるでしょ、桜を見る会で嘘を言っているとわかるじゃないですか、そうすると森友加計問題で嘘を言っていない、と。それは嘘なんです、重要なところはね、私も妻もこの事件に関わっていたら総理大臣もそして衆議院議員やめますとやったことです。だって関わっていたんです、私の方はあの小学校建設について安倍昭恵夫人と何回となくやり取りをしている、そしてそれに連なるのは100万円いただいたでしょということですね。」

ナレ「森友問題は財務省による決裁文書の改ざん事件にまで発展。公文書偽造や国有地売却をめぐる背任の容疑などで38人が告発されましたが結局起訴されたのは籠池夫妻だけでした。」

"籠池諄子「アホとちゃうかと言われるかもしれませんが、私としてはこれで良かったと思っています、国家のあり方というのがこういうものなのかなと主ました、不条理だなんて思いました、そのことに対しては自分なりに感じたことを素直にこれからも発信していく権利を得たよう暗記がします。」

籠池泰典「今、このような状態になってしまったということは私と叶いでこの社会は変えていけるかもわからない、と。」

籠池諄子「そう、そうなの！」

籠池泰典「まさに」

籠池諄子「それをね、すごく楽しみなの。」

ナレ「籠池被告は控訴する方針を示しています。」

このトピックに当てられた時間は299秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・国会（小泉環境相と検察人事）：結論→他の放送日との比較が必要

小川キャスターの「国会です、新型コロナ対策の会議を欠席し、地元の新年会に出ていた小泉大臣が反省を口にしました、一方検察ナンバー2の定年延長、この問題を巡っては総理の答弁との食い違いに止まった人事院、ついい間違えた、だそうです。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

ナレ「今日は国会審議への出席がなかった安倍総理、地元・ふぐ業者の表敬を受けました。」

安倍総理「ぷりぷりして、歯ごたえも感じて、」

ナレ「一方、総理のいない国会では、この人が追求を受けました。新型コロナウイルスの対策会議を決先し、地元の新年会に参加していたという小泉大臣、問題となっているのは昨日のやり取りです。」

"宮本徹（共産党衆院議員）「もう一度だけお伺いしますが、その時間帯何をされていたんでしょうか。」

小泉進次郎（環境相）「ええ、危機管理は万全に行っております。」

宮本徹「後援会の深淵開業時に参加していた、イエスカノーか、それだけ。」

小泉進次郎「宮本先生のおっしゃるとおりで。」

ナレ「そして、今日。」

"本多平直（立憲民主党衆院議員）「何をしているのかということに5回に渡って答弁をはぐらかし、自分の口から後援会の会合に出たことということをいわない。非常に私は潔くない態度に見えました。」

小泉進次郎「地元の会合の出席問題だと、そういった声に対して、その声を真摯に受け止めて反省をしている、と。」

ナレ「一方、検察ナンバー2の検事長の人気を安倍内閣が特例で延長した問題、政府の答弁が混乱しています。従来の法解釈には検察官には国家公務員法の定年延長規定は適用しないというもの、先週、この見解を維持しているかを問われた、人事院は。」

"松尾恵美子（人事院給与局長）「現在までも同じ解釈を引き続けているところでございますが」

ナレ「従来の法解釈を現在も引き継いでいると答弁しました、しかしその翌日、安倍総理は。」

"安倍総理「検察官の勤務延長については国家公務員法の規定が適用されると解釈することとしたところです。」

ナレ「法解釈の変更を明言、今日、改めて政府の先週の答弁との整合性が問われました。」

"山尾志桜里（立憲民主党衆院議員）「現在までも同じ解釈を引き継いでいるということにならないでしょ、2月12日のこの答弁を撤回させられますか。」

松尾恵美子「現在という言葉の使い方が不正確でございました、撤回をさせていただきます。現在まで解釈をしてきた、というのは現在というのは1月22日までということ。」

ナレ「重要な見解がいつも簡単に撤回されたことで委員会はストップ。」

山尾志桜里「なぜ、こんな間違いようもないことをいい間違えたんですか。」

ナレ「なぜ、核心部分の答弁を間違えたのかを問われると。」

松尾恵美子「つい、いい間違えたということでございます。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「ついい間違えた、ということですけども、この問題ちょっと整理しますと、先月の31日にこの検事長の定年延長が閣議決定されました。で、その後、人事院は先週ですね、検察官には定年延長は適用しないという従来の法解釈を現在も引き継いでいるというふうに答弁した、ただこの次の日に安倍総理が法解釈の変更を明言します、じゃあこの答弁なんだったのと問われて、人事院がついい間違えたというふうに答弁した、

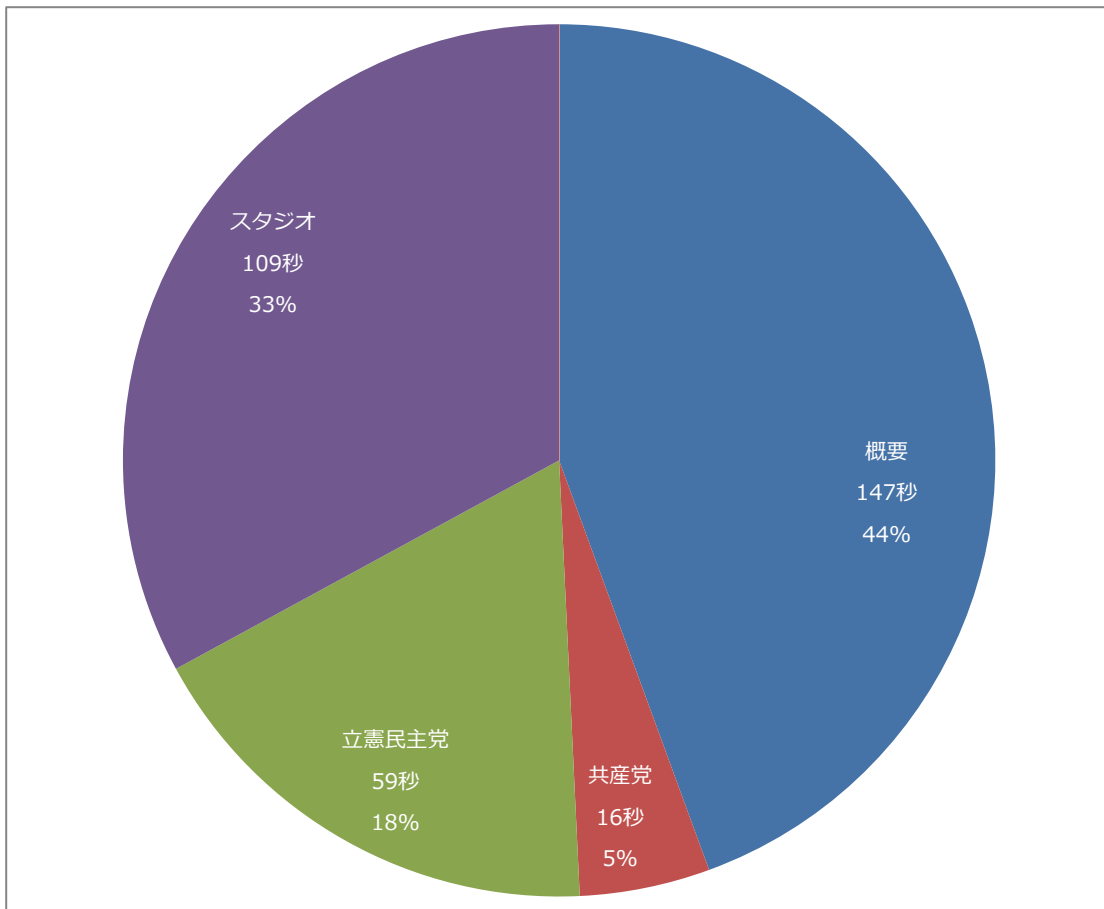
星さんこういうわけですね。」

星浩「あの、普通ですね閣議決定があるときは、もう公務員、官僚の人たちも全精力を上げて精密に過去の答弁とか関連法案をチェックするわけです、今回は明らかに定年延長がありき、政治決定があつて、その後、みんなどうなったんだと右往左往したわけですね、で安倍総理がまたこれで法解釈を変更したんだと明言しちゃったわけですから、官僚たちは後付の理屈をつけるためにも右往左往しているというのがこれを見てもありありだと思いますね、私が取材した殆どの官僚 OB は今回の決定はいくらなんでも無理筋でひどすぎると言ってますよね。」

小川彩佳「後付の理屈で右往左往する官僚の姿というのは森友問題でも思い出しますし、」

星浩「まあそうですね、確かにね、補助金問題では不正行為の疑いが非常にあるんですけども、この問題はしかしさらに言えば、なんで八億円の国有地が値引きされたか、それからなんでその昭恵夫人の書いてある公文書がバサバサと改ざんされたかというのは大きいわけで、そちらの方は一向に解明されていないというのは忘れてはいけないと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 331 秒で、時間配分はいかに朱記したとおりだった。



今回の報道では共産党と立憲民主党が取り上げられていた。他の政党が他の放送日でどのように取り上げられているのかという点については今後も注視する必要があるだろう。

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・国会

今日の報道に限った話ではないが、最近の NEWS23 では維新の会の質疑が全く取り上げられていないように見受けられる。維新の会と言えば、仮にも京阪神を中心に都市部で一定の勢力を持つ公党であるがそうした、政党の声を全く拾い上げないという姿勢はいかがなものかと思われるし、NEWS23 という番組は都市部の有権者や京阪神の有権者を軽視している、というように取られても仕方のない報道姿勢であるように見える。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年2月20日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：検察官の定年延長、「桜を見る会」をめぐる諸問題、森友学園問題、アメリカ大統領選挙		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型肺炎、クルーズ船から下船の乗客 2 名が死亡 ・ 検察官の定年延長 <ul style="list-style-type: none"> ・ 解釈変更の時期をめぐり、二転三転する内閣の答弁 ・ 「桜を見る会」をめぐる諸問題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 政府は「桜を見る会」関連の 1000 ページ超の資料を国会に提出。招待者名簿は含まれず ・ 「あおり運転」か？バイクの高校生死傷 ・ 約 10 か月ぶりの円安ドル高水準。国内の新型肺炎の拡大を懸念し円売りの動き広がる ・ 森友学園問題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪地裁、籠池前理事長の保釈を認める決定を下す。検察は抗告 ・ アメリカ大統領選挙 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総資産 6 兆円の大富豪ブルームバーグ氏が民主党予備選に参戦 ・ スポーツ情報 ・ 新型肺炎対応でクルーズ船乗船の厚労省幹部 2 人が感染 ・ 天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検察官の定年延長→結論：問題なし <p>小川キャスターの「検察 No.2 の定年延長問題です。」、山本キャスターの「安倍総理が法律の解釈の変更を明言したことから、閣僚らの過去の答弁との食い違いが次々と出ています。」とのコメントを導入として、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>今井雅人氏（衆院議員、「立国社」会派）「法治国家じゃない、法務大臣がそんなことを仰るなんてびっくりしましたよ」</p> <p>ナレーター「検察 No.2 の黒川検事長の定年を異例の閣議決定で延長した問題。これまで政府は従来の法解釈として『検察官には国家公務員法の定年延長規定は適用しない』としてきました。ところが先週安倍総理は従来の法解釈を変更したと明言。では、いつその法解釈を変更したのか。森法務大臣は昨日人事院での協議が終了した 1 月 24 日だと答弁しました。しかし先週の答弁では」</p> <p>山尾志桜里氏（衆院議員、立憲民主党）「制度として検察官の定年延長が認められるようになったのはいつからですか」</p> <p>森雅子氏（法務大臣）「国家公務員法の法改正が昭和 60 年に施行されていますので、その時に（勤務延長制度が）検察官にも適用されるようになったと」</p> <p>ナレーター「森法務大臣は、国家公務員法に定年延長が明記された 1985 年だと述べていたのです。」</p>		

後藤祐一氏（衆院議員、国民民主党）「今年 1 月 24 日から勤務延長が可能になったという答弁がありました。これ矛盾しているじゃないですか」

森氏「今般解釈をしたところ、制度論として勤務延長制度が適用できたというふうに解釈を整理したということです」

ナレーター「つまり、森法務大臣によると 1985 年当時に既に定年延長制度はあったが検察官には適用されないと解釈し運用を続けてきたので、今回改めて適用できるよう解釈を整理したということです」

後藤氏「制度的には適用できるが、実際には適用できない。世にも奇妙な珍答弁ですよ。」

ナレーター「さらに」

山尾氏「なぜこんな間違いようのないことを言い間違えたのですか」

松尾恵美子氏（人事院給与局長）「つい言い間違えたということです」

ナレーター「昨日、法解釈を巡る答弁を修正した人事院、今日は『法解釈の変更に異論はない』とした内部文書を国会に提出しました。しかしそこには日付がありません」

小川淳也氏（衆院議員、「立国社」会派）「これは法律だろうが政令だろうが省令だろうが解釈だろうが告知だろうが全部一緒です。こんな重要文書に日付打ってないなんて初めて見ましたよ。確認しますが、内部決裁とてますよね」

松尾氏「3 人事官の了承は得ております」

小川氏「決裁を取ったかと聞いています」

松尾氏「取っておりません」

小川氏「こんな重要な文書を決裁取らずに法令解釈したなんて聞いてことがない。」

ナレーター「この文書もつじつまを合わせるためなのでしょう。こうしたなか検察官のトップが集まる会合が開催され、渦中の黒川氏も出席しました。出席者からは『政権との関連性に疑念の目が向けられている。このままでは検察への信頼が疑われる』という異例の発言もあったとのこと」

VTR を受けて、スタジオでは下記に朱記したやり取りが繰り返し広げられた。

小川キャスター「いまの発言にもつながっていますが、国家公務員法では定年延長が出来るのですが、検察庁法では検事総長は年齢が 65 年、その他の検察官は 63 年に達した時に退官すると定められているのですね。わざわざこのような規定が存在するのはどうしてなのでしょう」

星キャスター「そうですね、この検察庁法には検察は特殊な任務だと書かれていまして、検察の独立を重視しているということなんですね。今回、政治判断というか政権の判断で一般の公務員法を適用して、検察官の定年延長ができるとしたわけですが、これが罷り通るとどういうことが起きるかちょっと考えてみると、政権にとって都合のいい検事さんは定年延長してあげましょう、都合が悪い検事は定年延長しませんよとそういうことですよね。検事を色分けするというわけで、これはやっちゃいけないことなのです。ですから、検察のなかにも非常に危機感が強くて、機能の検察の会合でも批判が出たということなので。それから法務大臣や人事院の答弁を聞いてみると、無茶苦茶な答弁が続いていて、これはこの決定を白紙に戻さない限り、疑問はどんどん膨らんでいく一方だと思いますね」

このトピックに当てられた時間は 316 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

なお、本トピックの国会質疑の VTR にて取り上げられた各会派の質問時間は下記の通りであった。

・「立国社」会派(今井雅人衆院議員、山尾志桜里衆院議員、後藤祐一衆院議員、小川淳也衆院議員)→148 秒

・「桜を見る会」をめぐる諸問題→結論：問題なし

山本キャスターの「政府は今日『桜を見る会』について、100 ページを超える資料を国会に提出しました。しかし、招待者名簿は含まれず、野党側は不自然だと主張しています。」とのコメントを導入として、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

山本キャスター（※ナレーション）「国会に提出されたのは、去年の『桜を見る会』についての決裁や警備など 1000 ページを超える資料です。しかし、野党が提出を求めていた招待者名簿は含まれず、立憲民主党の蓮舫副代表は不自然だと述べました」

蓮舫氏（立憲民主党副代表）「この中から唯一残っていないのは名簿です。探せば資料は全部あるのに速やかに捨てられているのは名簿です。いよいよ不自然さというのがリアルに裏付けられたと思っています」

このトピックに当てられた時間は 49 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・森友学園問題→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「小学校の建設を巡り、補助金をだまし取った罪などで昨日懲役 5 年の実刑判決を受けた森友学園の元理事長の籠池泰典被告。判決後、大阪拘置所に収容されましたが、大阪地裁は保釈を認める決定をしました。保釈保証金は 1200 万円だとしています。一方、大阪地検は決定を不服として抗告、大阪地裁が明日以降保釈の可否を判断する見通しです」

このトピックに当てられた時間は 29 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカ大統領選挙→結論：問題なし

小川キャスターの「トランプ大統領の推定資産は 3400 億円と破格なのですが、その 17 倍という 6 兆円の資産を持つ大富豪が打倒トランプの指名争いに参戦。11 月の大統領選挙は『超お金持ち』同士の戦いとなるのでしょうか」とのコメントを導入として、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

サンダース氏（上院議員、米民主党大統領予備選立候補者）「今夜 50 万人が路上で寝ている間に、ブルームバーグ氏のような億万長者が富を一層大きく増やしてることに皆うんざりだ」

ウォーレン氏（上院議員、米民主党大統領予備選立候補者）「傲慢な億万長者を別の傲慢な億万長者に変えても大きなリスクを冒すだけだ」

ナレーター「民主党の指名を争う候補が揃って批判するのが、ブルームバーグ前ニューヨーク市長、金融情報を提供するブルームバーグ社の創業者で、推定資産 6 兆円を誇る世界 9 位の大富豪が NBC ニュースのテレビ討論会に初めて参加したのです」

ブルームバーグ氏（米民主党大統領予備選立候補者）「まず大事なのが誰がトランプ大統領を倒せるのか、その次にホワイトハウスで誰が大統領の仕事ができるか。私が両方が出来る候補者と主張する」

ナレーター「格差は正が民主党の大きなテーマでありながら、自分の資産を湯水のごとくつぎ込み、既に 300 億円以上のテレビやネット広告を流したといわれるブルームバーグ氏、批判もどこ吹く風です」

NEWS23 週刊報告 詳細版

ブルームバーグ氏「私は自分のお金を使って史上最悪のトランプ大統領を排除しようとしている。」

ナレーター「政策的には中道で、他の有力候補が伸び悩むなかで、最新の世論調査では支持率は2位に浮上。新たな台風の目ですが、一部で報道されているセクハラ問題を追及されると言葉に窮する場面もあり、華々しいデビューとはいきませんでした。これに推定資産が3400億円とはいえ額では太刀打ちできないトランプ氏。本命なき候補者レースが続く民主党、次の決戦は22日南西部ネバダ州です」

このトピックに当てられた時間は152秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・ 検察官の定年延長

放送のなかで、衆議院会派「立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム」、いわゆる「立国社」会派に所属する4名の衆院議員(山尾志桜里氏=立憲民主党籍、後藤祐一氏=国民民主党籍、小川淳也氏、今井雅人氏=以上無所属)による予算委員会における質疑が取り上げられていた一方で、他の会派に所属する議員によるこの問題にかかわる質疑が全く取り上げられていないことに疑念を抱いたが、2月10日～20日の衆議院予算委員会の質疑において(※参議院の予算委員会は1月31日以降開かれず)、この検問題について取り上げた事例としては、「立国社」会派所属の議員による質問を除くと、2月20日の藤野保史議員(共産党)によるもののみであり、「立国社」会派の議員がこの問題に注力し、予算委員会の場で盛んに取り上げていた結果として、放送時間の偏りが生じたというだけのことであろう。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年2月21日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：検察官の定年延長、森友学園問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元 SMAP 中居正広さん、ジャニーズ事務所退所を発表 ・新型コロナウイルス、未就学児含む新たに 15 人が感染 ・小 4 女児虐待死、被告である父親は起訴内容の一部を否認 ・検察官の定年延長 <ul style="list-style-type: none"> ・法務省「文書による正式な決裁は取っていなかった」と発表、森大臣の答弁と矛盾 ・森友学園問題 <ul style="list-style-type: none"> ・前理事長の籠池被告が保釈 ・スポーツ情報 ・宮内庁、愛子さまの学習院大文学部への進学を発表 ・2月の百貨店各社の売上が前年比 15%減。背景に新型コロナウイルス流行に伴う訪日外国人の減少か ・新型コロナウイルス流行に伴い、9 か国が日本への渡航抑制を呼び掛け ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検察官の定年延長→結論：問題なし 以下に朱記した VTR が取り上げられていた。 ナレーター「検察庁 No.2 の黒川検事長の定年延長を巡り、政府が法律の解釈を変えた問題。昨日の国会で追及された森法務大臣は『必要な決裁は取った』と答弁していました。しかし今日法務省は『文書による正式な決裁は取っていなかった』などと説明。またも政府の答弁が混乱しています」 このトピックに当てられた時間は 24 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・森友学園問題→結論：問題なし 以下に朱記した VTR が取り上げられていた。 籠池泰典氏（森友学園前理事長）「ほっとしましたよ。もう連休明けになるまで出してくれないのかと思い、半分寝てましたからね」 山本キャスター※ナレーション「森友学園の補助金詐取事件で懲役 5 年の実刑判決を受け、大阪拘置所に収監されていた前理事長の籠池泰典被告が保釈されました」 籠池氏「一句だけ今日詠んだので。『愛し妻 握る手温し 公判廷』この人(=夫人の悼子被告※検証者注)の温かい手で手を握ってくれました。」 山本キャスター※ナレーション「(籠池泰典被告は※検証者注)『控訴する』『最高裁まで戦う』としたうえで、妻・悼子被告の控訴については熟考するとしています」 		

NEWS23 週刊報告 詳細版

このトピックに当てられた時間は 42 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・ 検察官の定年延長

「口頭決裁の活用でペーパーレス化を促進。昨今叫ばれている霞ヶ関の「働き方改革」の先頭をゆく法務省」
…そんな皮肉の一つや二つが聞こえてくるような惨状である。

大臣の口から斯くのごとき答弁がなされることは、野党に対しては言うまでもなく、与党議員に対してもその場しのぎの事実と反する答弁で言いくるめられる存在として認識されている、いわば「舐められている」ということである。

このような閣僚や官僚による国会の権威を軽んじる姿勢に対しては、与野党を超えて毅然とした態度で対峙していく必要がある。今こそ立法院の意地を見せてほしい。

それぞれの地域、あるいはそれぞれの職域の有権者ひとりひとりの思いを背負い、国会の舞台に送り込まれた 709 名の国会議員の良識を信じたい。

(※閣僚含。現在の議員定数は衆議院 465 名+参議院 245 名で計 710 名だが、衆議院について前任者の死去により小選挙区静岡 4 区選出分の 1 議席が空席)